

2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ② ライフ分野

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
国際医療交流の拠点づくり「りんくうタウン・泉佐野市域」地域活性化総合特区(大阪府、泉佐野市)	3	3.3 進捗度 ・国際医療交流の推進 65% ・訪日外国人へのホスピタリティや地域魅力の向上による訪日促進 66%	3.1 地域独自の取組 ・国際医療交流の拠点づくり促進補助金 ・宿泊施設設置奨励金 等	2.8	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人がん患者数が増えている一方で、円安局面の中そこからの医療サービス収入が伸びていないことは、付加価値の面で競争力が低いサービスとなっていることがうかがえる。幹細胞治療や免疫細胞治療も含め提供サービスの付加価値を高める方策が必要と思われる。 ・COVID-19の影響を大きく受けた分野が散見されるが、外国人がん患者等受診数や地域通訳案内士(特区ガイド)活動件数は実績値が目標値を上回っているなど、遂行可能な領域については、十分な実績をあげていると考えられる。 ・規制の特例措置や各種支援措置をより積極的に活用できるとよかった。 ・国際医療交流の拠点として国内外の患者に質の高い医療を提供するためには、外国人医師との交流・受入・臨床修練は重要な取組であると思われるため、目標達成に向けた一層の工夫に期待したい。